

流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	流動負債は流動資産で基本的に決済する。流動負債を決済するのに十分な流動資産があるかどうかを判定する。 業界にもよるが、100%を切っていると、借り換えや新たな借入れなどを行わないと決算日時点では支払いが難しい状況にある。
正味運転資本	流動資産 - 流動負債	実額としての流動的な資金の正味額を意味する。 一時的なマイナスを除いて、正味運転資本が連続的にマイナスになることは短期的な事業運営資金が不足するわけなので、好ましいことではない。一定の運転資本を確保することが重要。
手元流動性	現金及び預金 + 有価証券	支払い手段としての流動的資金を表す。 短時日での支払い能力のある資産の金額を示す指標。
当座資産	流動資産 - 棚卸資産	流動資産から、商品・製品・仕掛品・原材料などの棚卸資産のようにこれから販売、もしくは製造して販売しないと資金にならないものを除いた部分。当座資産は、流動資産よりも支払手段としての確実性が高い資産。
当座比率	$\frac{\text{当座資産}}{\text{流動負債}}$	流動比率の当座資産版。 不良在庫と呼ばれる売れない塩漬けの棚卸資産が多額にあると、流動比率は高いのに当座比率が低いという状況になる。
自己資本比率	$\frac{\text{自己資本}}{\text{負債純資産合計}}$	弁済を要する負債ではなく、弁済を要しない純資産が多いほうが長期的に財政が安定しているという視点からの指標。